

## 問題

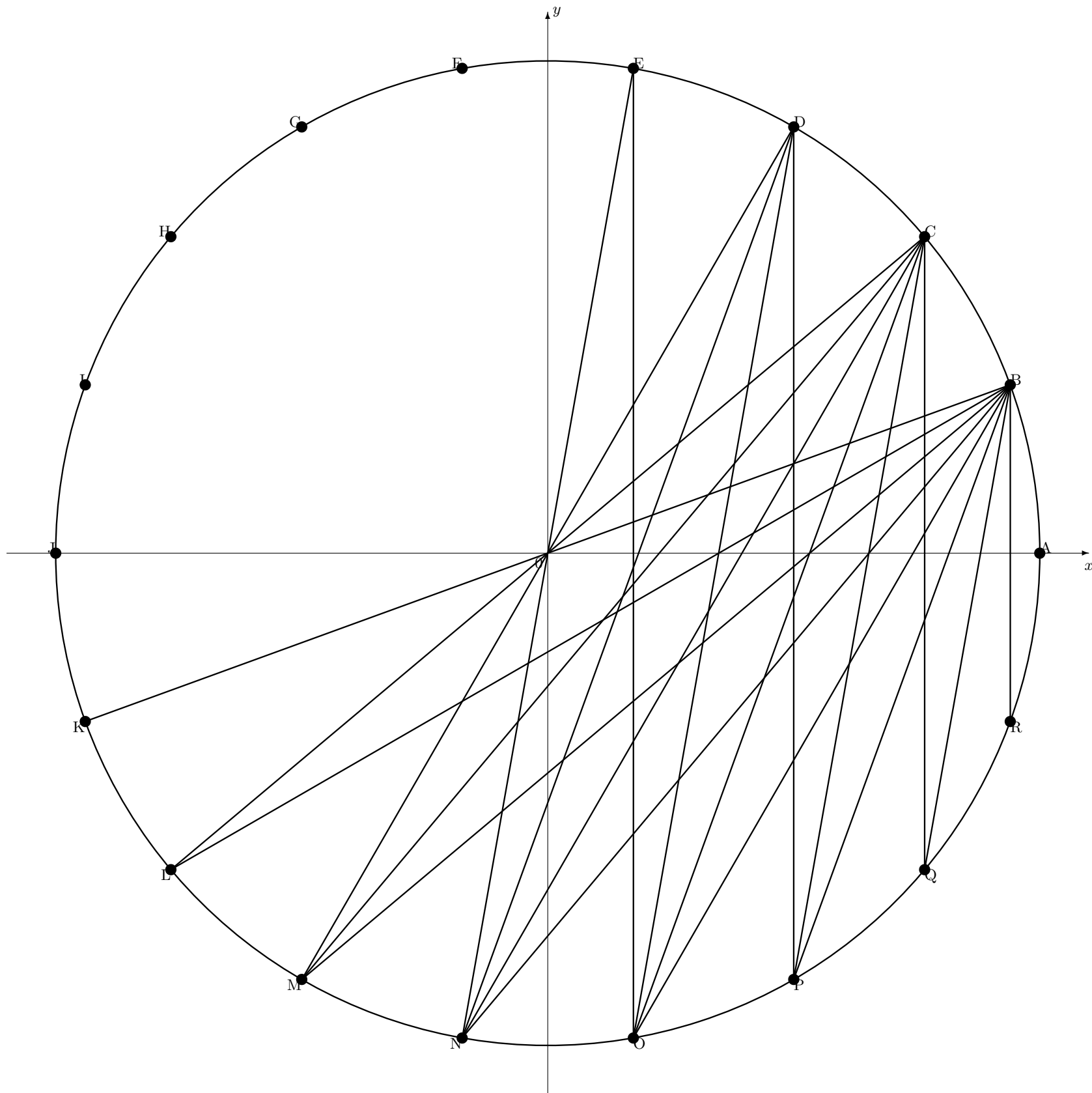
上図で、 $\triangle ABC$  は頂角が  $20^\circ$  の二等辺三角形である。CE を  $\angle ACE = 30^\circ$ , BD を  $\angle ABD = 20^\circ$  となるように引く。このとき  $\angle BDE$  を求めよ。

少し前に流行った問題であるが、円の 18 等分点を使えば簡単に証明することができる。ここで一番難しいのは、三直線が点 F で交わることであるが、これはあとで証明することにする。

## 1 解答

$\angle BFD = \angle BDF (=70^\circ)$  ゆえ  $FB = DB$  となる。  $BG \perp DF$  ゆえ、  $FG = DG$  である。したがって  $EF = ED$  となり、  $\angle EDF = \angle EFD = 40^\circ$  となる。よって  $\angle BDE = \angle BDF - \angle EDF = 70^\circ - 40^\circ = 30^\circ$  である。

2 点 F で交わることの証明



$\zeta_k = \exp(k\theta)$ ,  $\theta = 2\pi/18 = 20^\circ$  とおくと、 $\zeta_1, \zeta_{12}$  を結ぶ線分と実軸の交点が、 $\zeta_2, \zeta_{14}$  を結ぶ線分と実軸の交点と一致することを示せばよい。交点を  $t \in \mathbb{R}$  とおくと、 $\frac{\zeta_{12}-t}{\zeta_1-t} = s \in \mathbb{R}$  とかける。  $t$  について解くと、 $t = \frac{\zeta_{12}-s\zeta_1}{1-s}$  となる。分子の虚部が 0 になるので、 $\sin 12\theta - s \sin \theta = 0$  となり、 $s = \frac{\sin 12\theta}{\sin \theta}$  となる。したがって、 $t = \frac{\sin \theta \cos 12\theta - \cos \theta \sin 12\theta}{\sin \theta - \sin 12\theta} = \frac{-\sin 11\theta}{\sin \theta - \sin 12\theta} = \frac{-2 \sin \frac{11\theta}{2} \cos \frac{11\theta}{2}}{-2 \cos \frac{13\theta}{2} \sin \frac{11\theta}{2}} = \frac{\cos \frac{11\theta}{2}}{\cos \frac{13\theta}{2}} = \frac{\cos 110^\circ}{\cos 130^\circ}$  である。同様に、 $\zeta_2$  と  $\zeta_{14}$  を結ぶ線分と実軸の交点は、 $t = \frac{\cos 6\theta}{\cos 8\theta} = \frac{\cos 120^\circ}{\cos 160^\circ}$  となる。 $\frac{\cos 110^\circ}{\cos 130^\circ} = \frac{\cos 120^\circ}{\cos 160^\circ} \iff 2 \cos 110^\circ \cos 160^\circ = -\cos 130^\circ \iff \cos 270^\circ + \cos 50^\circ = \cos(180^\circ - 130^\circ)$  ゆえ、成り立つ。

### 2.1 終わりに

この手の問題は、円周の等分点を使えばわかると昔桑原先生が言っていたが、それを SEM の例会で話したものの、この問題は解けなかった。ED が等分点を通らない、弦が交わることを示すことが難しい。円周角にならないで、円の内部で交わるときにできる角がわからないのが原因であった。最近、子供の中 2 数学の教科書を見ていて、弦の交点を作る角は、円周角の和になるという事実が書いてあるのを見つけ、この解答を発見した。

ところで、図から、 $\zeta_1\zeta_{13}, \zeta_2\zeta_{15}$  の交点も、 $\zeta_1\zeta_{11}, \zeta_3\zeta_{14}$  の交点も、一致する。これに相当する式は、 $\cos 120^\circ \cos 170^\circ = \cos 140^\circ \cos 130^\circ$ ,  $\cos 120^\circ \cos 110^\circ = \cos 100^\circ \cos 170^\circ$  であり、少し変形することにより、以前の「tan の積」の中で示した式  $\sin 30^\circ \sin 2\alpha = \sin \alpha \sin(90^\circ - \alpha)$  になる。